

会 長 高橋 清 会長エレクト 館盛道明  
副 会 長 青柳文四郎 幹 事 飯田豊太  
例 会 場 八千代銀行 4F  
大和市大和南2丁目1番1号  
事 務 所 大和中央ビル 301  
TEL 046-262-1717 FAX 046-262-1818  
E-mail: naka-rc@marv.mediatti.net  
会報委員会 中島康次郎 石川健次 古木勝治

### 国際ロータリーテーマ

ロータリーの未来はあなたの手のの中に  
RI 会長 ジョン・ケニー

### 大和中ロータリークラブ会長ターゲット

「親睦と奉仕・広げようロータリーの輪」

### 本日のプログラム 5月 27日

「市内の歴史を訪ねて」  
(古郡 清 会員)

### 次回予告 6月 3日

フリーディスカッション  
” 職業奉仕について ” (職業奉仕委員会)

### 第1530 例会 平成22年 5月 13日

司 会 SAA・入江公敏

斉 唱 「それでこそロータリー」

ソングリーダー 松崎正実

ビジター 小野孝男 (東京銀座RC)  
古木通夫 (大和RC)

欠席者6名 小菅・北嶋・原嶋・神昨  
・梅野・横澤

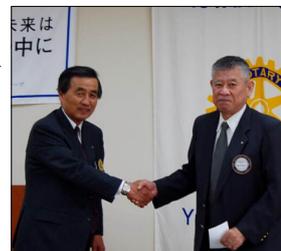
以上敬称略

会員数	出席数	出席率	前々回修正	出席免除
38名	25名	82.35%	81.08%	7名

## 会長の時間 高橋 清 会長

●誠に残念ですが、12年間大和中RCのために貢献頂きました事務局員の佐々木佳子さんが、平成22年6月30日をもって退職されることになりました。長い間ご苦勞様でした。

●ロータリー財団より飯田幹事にマルチプル・ポールハリスがフェローピンが届いております。



●5月30日は三クラブ合同クリーンキャンペーン及び親睦バーベキュー大会が開催されますので多数の会員及び家族の参加をお願い致します。

●本日の夜は社会員、岩松会員お二人の新人歓迎会です。会員の皆様ご出席をお願い致します。

## 幹事報告 飯田 豊太 幹事

●次年度会費 20,000円の値上げが例会において承認報告がありました。

●4月度の会計報告が承認。

●事務局員の佐々木佳子さんが、平成22年6月30日をもって退職されることが承認。

## 委員会報告

●姉妹クラブ友好委員会

橋本 日吉 委員長

東慶州RCより恒例の離就任式の招聘の要請が参りました。今年度はモントリオール国際大会と重なりましたが



国際大会を優先致しますが、少人数でも継続しようという事で次週にご案内を致します。

日程は6月23日、24日、25日の2泊3日で23日に離就任式に参加します。詳細は次回にお知らせ致します。

●国際大会の参加者へ

藤塚 勝明 次年度地区幹事

5月の28日の午後6時より参



加者の顔合わせと打合せが御座います。

- 親睦活動委員会 伊藤 英夫 委員長
- ◆会員誕生日 中島康次郎 君 5月22日
- ◆結婚記念日 番 桂柳 君 5月21日
- ◆創業記念日 北島 照介 君 5月22日

●新入会員（社会員、岩松会員）の歓迎会を本日、北京飯店にて6時半より開催しますので宜しくお願いします。

## 卓 話

「ガバナーズクラブに備えて」

・効果的なクラブに！

（より良いクラブを目指して）

後藤定毅ガバナーエレクト

次年度ガバナーとして、地区チーム研修セミナー、PETS、地区協議会を終えて、ホットしているところですが、埴プログラム委員長から「ガバナーズクラブに備えて」の時間を戴きましたので、先の地区協議会会長分科会で話した内容を話します。

2007～09年度日本で消滅したクラブは実に多い、それに比べ新クラブの結成は少ない、またこの間に結成されているクラブは、R財団学友のクラブが殆どです。会員減少も世

界は増えていますが、日本はこの10年で25%減少、特に我が2780地区はそれを上回り28%の減少です。その理由は日本経済の低迷と、不安定・不透明な経済環境、それに中小企業経営者の高齢化、後継者不足、事業所の減少、地方の過疎化など社会構造上の問題が影響しているが、それにもまして重大な要因は、日本経済の伸張と共に増強、拡大を急ぎ過ぎ、R情報教育が疎かになったこと、ロータリーを知らない会員が多くなり、会員一人ひとりの関心、愛情、熱意が薄れ、自らの組織に自信と誇りを失いかけているのではないのでしょうか。



ロータリーの火を消さないためにも、みんなでクラブの活性化をして、RIの推奨する効果的なクラブになることだと思います。それは「クラブがより良いクラブになる」ことです。効果的なクラブの四要素は、①会員基盤を維持、拡大する②成果のある奉仕プロジェクトを実施する③ロータリー財団プログラムに参加し支援する④クラブレベルを超えたクラブ指導者を育成するですが、ロータリーはクラブが基本であり、ク

## スマイル 郡司 守 委員長



小野 孝男 君（東京銀座RC）  
お世話になります。



古木 通夫 君（大和RC）  
5月9日、10日 小田切会頭のお通夜、告別式では、皆様方のお陰で無事終わりました。ありがとうございました。

高橋 清 会長

本日の卓話は後藤ガバナーエレクトによるガバナーズクラブに備えてです。お話を聞いて来年度へ向けての会員のご協力を宜しくお願いします。

番 桂柳 君

女房に来て戴き50余年 今はお互いに空気の如し？



埴 満子 君

後藤さんのお話を聞きに参りました。よく味わって帰ることにします。



中島康次郎 君

週末還暦を迎えます。その前に昨日iPhoneを小田急線に置き忘れ



ました。今日はロマンスカーでパソコンにコーヒーを溢しました。これからどうなるんでしょう？お祝い有り難う御座います。

本日	8,000円
累計	747,500円

ラブに魅力がなければ会員を維持できないし、会員を増強できない、したがってクラブは発展しないものだと思います。「理念の無い組織は衰退するというが、ロータリーには理念があるが、正しく伝えられていないし、理念・本質が理解されていないために、会員の規範が薄れ、会員事業所の不祥事も目立ち、社会の信頼すら損なわれ始めているわけで、顕著な例は例会も、それ以外でもバッチ未着用会員も多く、ロータリアンの誇り、愛着が薄れつつある現実があります。その証拠には、全国の平均例会出席率も会員減少に正比例していて、この10年では、5%も下がっていて、例会への遅刻、途中退席が目立ち、卓話中の私語、居眠りも多く、他クラブへのメイクアップも、サインの場所としか考えない会員もいるし、ひどいのは中には、代筆のメイクアップも考える会員さえ出る始末と言われます。ロータリーの本質は、一業種一人と相互扶助、一週間一度の職業の情報交換による規

則的出席の価値、ファーストネームで呼び合えるような親睦の価値、任務の一年交代制による他者への思いやり精神の涵養、信頼信用を築く他団体に向い職業奉仕の理念、地域社会のための奉仕活動にあるわけですから、100年を超す歴史を有する組織として、職業奉仕・倫理を大切にす組織として、地域・国際社会で奉仕する組織として、日本最大の奨学制度を有する組織として、相互に刺激しあい、自らを磨き、高める人の集う組織として、輝きを増すための具体策として、ロータリー情報の充実、徹底、提供機能の強化をして、ロータリー精神の理解不足、無関心を解消しなければなりません。そのためには、例会を、ロータリアンの心を癒す潤いと安らぎ、空間、オアシスに、激励し祝福し、知恵を授けあう思いやりに満ちた感動の空間にするとか、会員相互に惜しみなく拍手を送りあう習慣を作るとか、会員を温かく包みこみ、居心地を良くして、



疎外感を感じさせないようにすれば、例会の雰囲気は盛り上がり、一体感溢れるロータリアンのオアシスになり、次週の例会が待ち遠しくなるのではないのでしょうか。テーブルがいつも同じ人だけでないか、会長の時間は周到な準備で臨んでいるか、プログラムの充実や余裕を持って例会場に来ているか、卓話中はゲストに顔を向けて、私語居眠りをしないで聞いているか、激励・祝福・労いの拍手は惜しみなくするか、不快感や相手を傷つける言動はないか、欠席がちの会員は誘い合っているか等々、寛容、思いやり、謙虚さを持ってクラブ創りをすることが必要です。

そのほかにも情報伝達を確実にしたり、クラブ研修のプランを作るために地区の活用や支援を受けたり、明確なコミュニケーションをして会員全員が関与して方針と役割の継続性を配慮したり、一番は、会員同士の親睦ですから、個々の多様性、異質性を生かし、知り合いを広め、お互いが童心に戻り、親類づきあい、家族ぐるみの付き合いができるようになることです。

理想とするロータリークラブは、どんなクラブ？といえば、ロータリアンは人間的に

も、職業人としても素晴らしい！、ロータリーの会員企業であれば信頼できて安心！、あんな人になりたい、あんな人のいる組織に入りたい！と、地域の人々から言わしめるよう、薄れつつあるかつての栄光を復興させ、ウェーティングメンバーが待つようなクラブではないのでしょうか。そのためにともにロータリーを楽しみ、学んで、熱意をもって効果的クラブに、より良いクラブに我が大和中らしいクラブにしようではありませんか。最後に「ハチドリの一としづく」を、ある時森が大火事になった、みんなが我れ先に逃げ出す、でもハチドリだけは小さな体の小さなくちばしで水を汲み、火に一滴ずつ運んで消火活動をしています、何でそんな無駄なことをするんだとみんなが言う、するとそのハチドリは、「僕に出来ることをやってるだけだよ！」と言った。これは南米に伝わる民話ですが、自分ひとりだけでも行動することの大切さ、一人ひとりが自分に出来ることから始めようと、教えているのかもしれない。



以上

